

安全上のご注意

警告

- 煙が出ていたり、変な臭いが出るときは、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 落したり、キャビネットを破損した場合はすぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- コード類・プラグ類が傷んだり、水に濡れた場合は、すぐに電源を切ってください。コンセントを使用している場合は、すぐにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ご使用になるとき

- 修理・改造・分解はしないでください。火災・感電の原因となりますので、点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。本製品を分解・改造をした形跡があると、保証期間内であっても保証対象外となる場合があります。
- 内部に異物を入れないでください。金属類や、可燃物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 水に濡らしたりしないでください。火災・感電の原因となります。水辺での使用はしないでください。
- 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないで下さい。交通事故の原因となります。
- 航空機内で使用するときには、航空会社の指示に従ってください。航空法で、離陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

設置するとき

- 野外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。火災・感電の原因となります。
- 上に物を置かないでください。金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。重いものを乗せると故障の原因にもなります。
- 本機は、振動の無い安定した場所に固定して設置してください。振動を与えると、故障の原因となります。
- 閉め切った自動車内・ストープなどのそばに設置しないでください。故障・火災・感電の原因になることがあります。
- 本製品を動作させながら移動・持ち運びをしないで下さい。故障・火災・感電の原因となります。

注意

- 温度の高い場所に置かないでください。直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストープのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。
- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないでください。加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になることがあります。
- 移動させる場合は、本機の接続を全て外してください。接続したまま移動させると、火災・感電・故障の原因となることがあります。

ACアダプターについて

- ACアダプターの電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターを分解・改造・修理しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源コードは、傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプターの電源コードは、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟んだりしないでください。
- ACアダプターの電源プラグの刃や、刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやほこりを取ってください。火災・感電の原因となります。
- 通電中のACアダプターにふんをかけた後、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、指定のものを使用してください。指定以外のACアダプター・ケーブルを使用すると、火災・感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。万一故障した場合、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは本機以外の用途に使用しないでください。
- ACアダプターの電源はコンセントの奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込まないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーについて

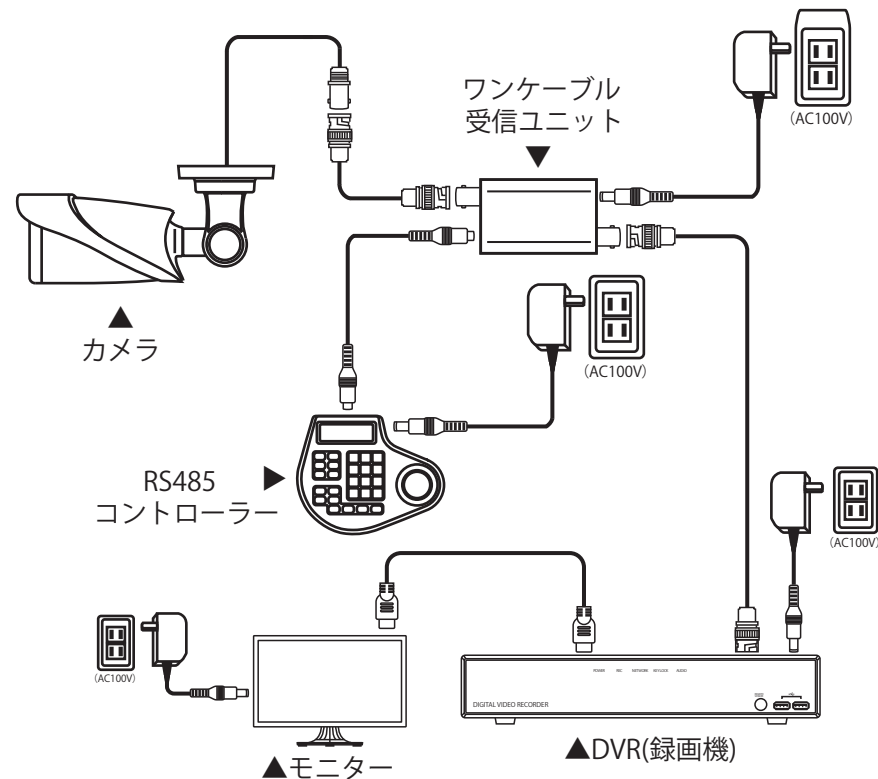
- 指定されたバッテリーパックを使用してください。指定以外のものを使用すると、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないでください。破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックの近くに、金属や水気のあるものを置かない様にして下さい。電極（+端子と-端子）に接触すると、ショートし、破裂・発火の原因となります。
- バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、火災・感電の原因となります。
- バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないでください。破裂・発火の原因となります。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社・販売店の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社・販売店は一切責任を負いません。
- 本製品の誤動作・故障により発生した事故・トラブルに関して弊社及び販売店は一切の責任を負いかねます。

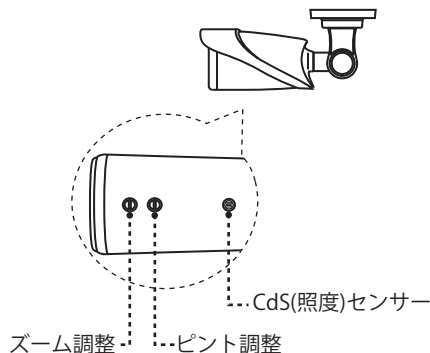
※本製品に該当しない内容も含まれることがあります

1 接続例



本構成は一例です。設置環境や接続する機器により、必要な配線や接続方法は異なります。本製品はEX-SDI/HD-SDI信号に対応した電源重畳ワンケーブル受信ユニットが必要となります。OSDメニューでの設定変更はRS485通信での操作が必要です。

2 レンズ調整



本体底面に調整ネジがついています。マイナスドライバー等で調整してください。

※注意
調整ネジはゆっくりと回してください。無理に回すと故障の原因となります。

3 メニュー設定

RS485通信でOSDメニューを操作、カメラの各設定が行なえます。

言語設定：日本語

メニュー	
1. レンズ	自動光量調整
2. 露光	↓
3. 逆光補正	オフ
4. デイ&ナイト	↓
5. WHITE BAL	↓
6. デジタルノイズ除去	中
7. イメージ	↓
8. モーション	オフ
9. システム	↓
10. 終了	SAVE↓

言語設定：英語

MENU	
1. LENS	DC
2. EXPOSURE	↓
3. BACKLIGHT	OFF
4. DAY&NIGHT	↓
5. WHITE BAL	↓
6. DNR	MIDDLE
7. IMAGE	↓
8. MOTION	OFF
9. SYSTEM	↓
10. EXIT	SAVE↓

- ①レンズ (LENS) ----- DCアイリス制御が固定アイリスか選択します。
- ②露光 (EXPOSURE) ----- 光量について設定します。
- ③逆光補正 (BACKLIGHT) ----- 逆光補正について設定します。
- ④デイ&ナイト (DAY&NIGHT) ----- 昼夜の切り替えについて設定します。
- ⑤WHITE BAL----- 撮影環境の色温度に合わせて白の色味を調整します。
- ⑥デジタルノイズ除去 (DNR) ----- デジタルノイズ (映像内のざらつき) を補正する機能です。
- ⑦イメージ (IMAGE) ----- 映像補正や反転について設定します。
- ⑧モーション (MOTION) ----- 本機では使用しません。
- ⑨システム (SYSTEM) ----- 出力信号や解像度について設定します。
- ⑩終了 (SAVE) ----- 変更を保存してメニュー画面を閉じます。

①レンズ (LENS)

1. レンズ	自動光量調整
--------	--------

「自動光量調整 / 電子光量調整」 (DC/MANUAL)
本製品はDCオートアイリスレンズを搭載しています。
自動光量調整にてご使用ください。

②露光 (EXPOSURE)

露光	
1. 明るさ	8 ▶*****↓
2. シャッタースピード	オート↓
3. DSS	×8
4. オートゲインコントロール	10 ▶*****↓
5. 戻る	↓

- 明るさ (BRIGHTNESS)
映像の明るさを調整します。
- シャッタースピード (SHUTTER)
「オート/マニュアル/FLICKER」
シャッタースピードに関する設定が可能です。
- DSS
低照度環境下での撮影時、センサー受光量を増やし明るさの補正をする機能です。モーションブラー発生の注意が必要です。
- オートゲインコントロール (AGC)
受光した電気信号のゲインを自動調整して、映像の感度を最適にする補正機能です。暗所での感度増幅を行います。ノイズも増幅されます。

③逆光補正 (BACKLIGHT)

3. 逆光補正	オフ
---------	----

- ハイライト補正 (HLC)
→白飛びしている部分をマスキングして露出を抑制することで、強い光の明るさを抑えて白と美を抑えます。
- バックライト補正 (BLC)
→指定した領域の明るさを基準に調整することで、逆光を抑制する機能です。
- WDR
→撮影エリア内の明暗差が大きい場合、シャッタースピードを変えて撮影した2枚の画像を合成して補正します。

④デイ&ナイト (DAY&NIGHT)

デイ&ナイト	
1. モード	オート

- オート/カラー (AUTO/COLOR)
→本体下部に搭載された外部CdSセンサーにより、夜間はホワイトLEDを照射します。
- 外部 (EXTERNAL)
→本体下部に搭載された外部CdSセンサーにより、夜間はホワイトLEDを照射すると同時に、白黒撮影へと切り替えます。
- モノクロ (B&W)
→本体下部に搭載された外部CdSセンサーにより、夜間はホワイトLEDの照射します。常時白黒撮影です。

⑤WHITE BAL

WHITE BAL	
1. AWB	オート
2. 彩度	20▶*****↓
3. 戻る	↓

- AWB
「オート/オート2/ワンプッシュ/マニュアル」 (AUTO/AUTO(EXT)/PRESET/MANUAL)
ホワイトバランスに関する設定が可能です。
- 彩度 (COLOR GAIN)
色の濃さを調整します。

⑥デジタルノイズ除去 (DNR)

6. デジタルノイズ除去	中
--------------	---

デジタルノイズ (映像内のざらつき) を抑制します。
ノイズを抑えることで、明瞭でクリアな画像が得られます。

⑦イメージ (IMAGE)

イメージ	
1. シャープネス	5▶*****↓
2. ガンマ	0.45
3. ミラー	オフ
4. フリップ	オフ
5. デジタルズーム	1.0×
6. ACE	中
7. 曇り除去	オフ
8. シェーディング	オフ
9. プライバシー	↓
10. 戻る	↓

- シャープネス (SHARPNESS)
画像の輪郭を強調する機能です。
- ガンマ (GAMMA)
受光量に対する出力信号を補正する機能です。
- ミラー (MIRROR)
映像を左右反転します。
- フリップ (FLIP)
映像を上下反転します。
- デジタルズーム (D-ZOOM)
1.0~16.0倍率でデジタルズームが行えます。
- ACE (アダプティブコントラストエンハンスメント)
暗部のコントラストを引き上げ、鮮明にします。
- 曇り除去 (DEFOG)
霧や雨などの影響でコントラストが低くなった被写体を補正します。
- シェーディング (SHADING)
光ムラに対して、均一な明るさになるように補正します。
- プライバシー (PRIVACY)
プライバシーエリアの設定が行えます。

⑧モーション

本機では使用しません。

⑨システム

システム	
1. 通信	オフ
2. OUTPUT	
3. IMAGE RANGE	
4. 色空間	
5. 言語	
6. リセット	
7. 戻る	

- 通信 (COMM)
カメラIDとボーレートの変更が可能です。
初期値はカメラID1 ボーレート2400です。
- OUTPUT
出力する映像信号や解像度の変更が行えます。
変更を適用するには「CONFIRM」を押してください。
- 言語 (LANGUAGE)
メニューの言語が選択できます。
- リセット (RESET)
全ての設定をリセットします。